

第1回松田町地域公共交通会議に対して頂戴しました皆様のご意見と、それに対する事務局の考え方（回答）を下表のとおりご報告いたします。貴重なご意見を賜り厚く御礼申し上げます。

協議事項

(1) アンケート調査の実施方針及び調査票（案）について

項目	頂いたご意見	事務局の考え方（回答）
アンケート実施方針について	アンケート票の配布を地域により比重配分する考え方には納得します。(できれば全戸配布をお願いしたい・・組織として)	松田町における地域公共交通のあり方を検討するうえで、寄地域や神山地域、松田庶子地域の一部における地域公共交通をどのように確保していくかが大きな課題になると考えています。これは、昨年度実施した新モビリティサービスに関するアンケート調査への回答率が高かったことから、公共交通に対する意識が高いことが検証されます。 各地域の人口で按分してアンケート調査票を配布した場合、寄地域などの公共交通に課題を抱える地域から回収できる標本数がかなり少なくなってしまいます。 このため、地域公共交通に対して多くの課題を抱える地域の住民意向をより多く把握するため、アンケート調査票を比重配分することとしました。また、比重配分とした場合、松田惣領や庶子から回収できる標本が少なくなってしまうため、アンケート対象者を1,500人から2,500人に拡大し、当地域の住民意向も把握します。
	昨年度実施された新モビリティサービスに関するアンケート調査の地域別回収率も参考に比重配分されたらどうか。関心のある人達から意見を多く頂ける可能性があると思います。	
	比重配分について、ある特定の地域の意見をより大きく反映させる結果となりますが統計的に適正なものとしてよろしいのでしょうか。特に手当が必要な地域については別途調査を実施する等の方法も考え得るかと思います。	
	現状に不便を感じている地域や、路線バスが不可欠な年齢区分の人（学生や免許証返納など）の意見は、丁寧に吸い上げていただきたい。	ご指摘の点も考慮したアンケート設計を行い、意向を把握した解析結果を、地域公共交通の将来像・基本方針へ反映させていきます。
問1②	自分の自治会名を知らない人も考慮し不明を追加しては。	ご指摘を踏まえ、選択肢「27. 自治会名がわからない」（松田地区・寄地区）を追加しました。

項 目	頂いたご意見	事務局の考え方（回答）
問2	「3. 運転免許は返納済」は「2. ない」に含まれるので「返納予定」としては。	ご指摘を踏まえ、選択肢「3. 返納予定」と修正しました。
問3	駅までの時間（距離）も必要では。	駅までの時間（距離）は、利用交通手段、時間帯、個人の年齢等の状況により様々となるため、質問には加えておりません。
問3② 問8⑤	問3の②はバス停までの距離、問8の⑤はバス停から目的地までの時間。距離か時間かを統一した方がよい。	ご指摘を踏まえ、問8の⑤についてもバス停から目的地までの距離に修正しました。
問3④	<p>「外灯が少なく不安」とあるが設問の目的が不明。夜間のバス利用に対する不安を聞いて何に活かすのか。バス停が近ければいいのか、どの程度などもっと情報が必要なのでは。</p> <p>選択肢1は「近くなので不安はない」、選択肢2は「暗くて不安」となっていますが、比較になっていないと思われます。何を知りたいのか整理し、回答を見直した方がよいと思います。</p>	<p>東名高速自動車道以南の平地部に比べ、寄地域などは山間の場所も多く、冬期は夕方4時を過ぎると山の陰に隠れて暗闇の状況となってしまう地区もあります。</p> <p>学生や女性、高齢者など、バス停から自宅まで夜道を歩くことの不安について、どの程度の方が問題だと思っているかの傾向を把握するための設問となります。</p>
問4②	移動の目的に「通勤・通学」とありますが、地域によっては通勤と通学で公共交通の利用方法が相違する可能性もあり、通勤と通学を区別してもよいのではないかと考えます（問6以降、通勤と通学を区別した設問も複数見受けられます）。	アンケート結果の分析の観点から、通勤と通学で区別をしました。
問5	各交通手段について、所有や利用していない場合もあるため「利用なし」などの回答欄を設けた方がよいのではないかと思います。どちらでもないという回答させた場合、利用していてそう思うのか、利用しないからそう思うのかがわからず、適正な調査結果とならないのではないかと思います。	ご指摘を踏まえ、回答の選択肢に「利用しないのでわからない」を追加しました。
問5	実際に自分でアンケートの回答を行ってみました。問5で「各移動手段それぞれ1つだけ選んで・・・」とあり、移動手段が鉄道から徒歩までありますが、この7つの手段全部に4つの項目から1つを選んで○印を付けるのかどうか迷いました。「バイク・原付」は使っていないので付けようがないからです。質問内容を分かりやすくした方がよいと思いました。	<p>ご指摘を踏まえ、設問文を以下のように修正しました。</p> <p>日常の移動手段について、不便さを感じていますか。以下の7つの移動手段について、あなたが不便だと思う程度を、それぞれ1つだけ選んで○印をつけてください。</p> <p>* 上記①の質問で、<u>移動手段のすべてに「3か4か5」</u>と回答された方は、問6へお進みください。</p>

項 目	頂いたご意見	事務局の考え方（回答）
問5③	徒歩・自転車は天候要因も多いと思われるが、適切な選択肢がない	徒歩・自転車を主な移動手段にしており、目的地までの距離が遠くて外出をあきらめている方を把握するための設問となります。
問5④	<p>問5③の「不便さが解消されたら」の想定される実現方法とアンケートの趣旨は合っているか。</p> <p>例：目的地まで徒歩・自転車で行けないなら</p> <p>方法1 目的地変更</p> <p>方法2 自宅を引っ越す</p> <p>方法3 道路の改善・新設</p>	この問5④は現状感じている移動手段の不便さが外出をあきらめる理由となっているとしたら、その不便さが改善されたら、どのくらい外出する機会が増えると思うかを把握するための設問となります。
問6 問8 問9 問10	問6の鉄道の利用状況についてはコロナ感染症拡大前、問8のバスの利用状況についてはコロナ感染症沈静後、問9のタクシーの利用状況及び問10の自転車の利用状況については時点の指定なしとなっていますが、統一する必要はないのでしょうか。	<p>鉄道利用については、コロナ禍により令和元年から令和2年にかけて1日当たり平均乗車人員が約4,400人強減少しています。鉄道利用者は基本的に長距離利用が多いと考えられ、本来の鉄道利用者の意向を把握するため、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前としています。</p> <p>バスの利用状況については、鉄道に比べて移動距離が短く、コロナ禍によりバスの利用を避けていた人が、そのままバスを利用しなくなる場合も考えられることから、新型コロナウイルス感染症の沈静後としています。</p> <p>タクシーと自転車については、鉄道やバスに比べて利用はほぼ個人の範囲に限られ、不特定多数と同乗することがないことから時点の指定は行っていません。</p>
問7	3つ選択とあるが、「1. バス乗降場」、「2. タクシー乗降場」、「3. 一般車乗降場」は駅としてコアの要素であり、外さないと質問の意味がなくなるのではないか。	現在のバス・タクシーの乗降場を含む駅前広場は町有地ではなく、一般車両の乗降場もないことを踏まえ、利用者の率直な要望を把握し、駅前広場の基本計画へ反映させたいと考え、選択肢はこのままとしました。

項 目	頂いたご意見	事務局の考え方（回答）
問 11①	アンケートの対象が15歳以上とあるが、これから運転免許を取る年齢の人に対する配慮がない。	ご指摘を踏まえ、これから運転免許を取得する人向けの回答選択肢として「5年後には運転免許を取得して、自家用車を運転したいと思う。」と「運転免許は取得するかもしれないが、自家用車を運転するかはわからない。」を追加しました。
問 11②	自分以外に自家用車を運転する人がいない場合、選択肢4の「不安に思う家族はいない」を選択してしまう可能性がある。「自分以外に自家用車を運転する人がいない」を選択肢に増やすべきではないか。	ご指摘を踏まえ、「家族の中で自分以外に自家用車を運転する者はいない。」を選択肢に追加しました。
問 12	問 12①の選択肢「6. 現在運行されている以外の新しい交通システムを検討する。」は、選択されても何を求めているのか不明となる。削除して、「7. その他」に具体的に記載してもらった方がよい。	本町で導入する新しい交通システムについては今後の検討を踏まえながらのものとなります。 ただし、選択肢としては、従来の公共交通とは違う新しい交通システムを求めている方もいると思われますので、その程度を把握するものとして選択肢に加えています。また、アンケート調査では、「その他」を選択されても具体的に記入されない方が多いため、新たな交通システムが具体的にどのようなものとなるかは現時点では明確ではありませんが、選択肢としては含めておく考えです。
問 12②	「令和3年度」は誤記	令和3年度に足柄広域新モビリティサービス事業計画の素案を取りまとめており、その中で「A I オンデマンドシステムのバス」についても検討しているため、このように記載をしています。

報告事項

(1) 松田町における地域公共交通の現状や課題について

項目	頂いたご意見	事務局の考え方（回答）
P 4	自治会名は、店置場ではなく店屋場	ご指摘を踏まえ、修正しました。
P 5	「昼間の就業者全体」とあるが、夜間に就業している人もいるので表現が適切でない。	ご指摘を踏まえ、「町内で従業・通学している人全体」に修正しました。
P 5	表の項目区分がわかりにくい	ご指摘を踏まえ、わかりやすく修正しました。
P 10	松田町内に営業所を置くタクシー事業者は、松田合同自動車(株)と福祉限定事業者3社の計4社ではないでしょうか。	ご指摘を踏まえ、修正しました。 なお、(株)丹沢交通のハイヤー事業は東京で営業をしているため、削除しました。
バス交通の現状について	マイカー社会からの脱却が困難な状況。高齢化が進む中、免許返納等によるマイカー利用者は減少されることが想定されるが、利用率や道路幅員の関係でバス運行回数増回や新規路線の設定が厳しい状況。現状の乗車率では運行回数の維持が困難な状況となっている。	P15「3. 高齢化の進展に伴う交通需要の変化」の項目に、「また、高齢化社会が進展する中で、免許返納等によるマイカー利用者は減少することが想定されますが、路線バスの利用率や道路幅員等の交通環境の関係から、路線バス運行回数の増便や新規路線の設定が厳しく、現状の乗車率では運行回数の維持が困難な状況となっています。」の一文を追記しました。
公共交通の利便性について	寄在住の世帯では、交通の自由度が低く、現状の路線バスでも学生は不便を感じています。その不便さを埋めるために定期があるにもかかわらず家族が送迎しています（休日の朝の部活のためや、曜日を問わずバス時間が合わないなどの理由）。悪天候時は更に厳しい状況です。バス料金(520円/片道)、タクシー料金(3,000～4,000円/片道)の負担も大きいです。	本公共交通計画では、ご指摘のような公共交通が不便と感じられている地区において、より利便性の高い公共交通のあり方について検討し、早期によりよい公共交通システムの導入を図りたいと考えております。
新松田駅周辺整備について	今後、人口減少により、バスのさらなる減便や路線の廃止への流れと思われる。新松田駅北口開発により人口減少が止まることを期待したい。（後発であり、開成駅や渋沢駅と同程度以上の規模を期待。）	新松田駅周辺整備につきましては、関係各機関との調整を図りながら、町民及び利用者の利便性を高め、住みやすい街とすることで定住の促進に寄与するものと考えております。